（第6回）契約変更の内容

契約変更年月日	令和7年2月17日
契約業者名	鹿島・五洋・森特定建設工事共同企業体
契約業者の住所	福岡市博多区博多駅前三丁目12番10号
工事の名称	令和4年度馬毛島滑走路等新設工事（その1）
工事場所	鹿児島県西之表市馬毛島
工事種別	空港等土木工事
工事概要	別紙のとおり
工期（自）	令和4年10月5日
工期（至）	令和9年3月17日
変更前の契約金額	51,361,200,000　円（税込み）
変更金額	37,378,000,000　円（税込み）
変更後の契約金額	88,739,200,000　円（税込み）
変更理由	別紙のとおり

工事内容

工　種　名　称	規格・形状寸法	単位	数量	摘　　要
滑走路等新設				
準備工				
準備工【指定部分】				
表土除去	t=30cm	m2	215,000	
	t=10cm	m2	1,185,000	
伐開除根		m2	221,668	
準備工				
表土除去	t=30cm	m2	15,515	
	t=10cm	m2	16,348	
土工				
掘削工				
掘削【指定部分】	火山灰質粘性土	m3	138,128	
	岩塊玉石	m3	1,415,121	
	砂岩優勢層　軟岩Ⅰ	m3	1,743,316	
	砂岩優勢層　軟岩Ⅱ	m3	2,106,230	発破
掘削	火山灰質粘性土	m3	983,229	（想定数量）
	岩塊玉石	m3	49,697	
	砂岩優勢層　軟岩Ⅰ	m3	525,865	
	砂岩優勢層　軟岩Ⅱ	m3	745,603	発破
盛土工				
盛土【指定部分】		m3	2,144,647	
盛土		m3	4,379,724	（想定数量）
舗装工				（想定数量）
路床整正				
（主滑走路）				
路床整正		m2		
（主滑走路オーバーラン）				
路床整正		m2		
（主滑走路側誘導路）				
路床整正		m2		原契約のとおり
（ウォームアップエプロン）				
路床整正		m2		
（主滑走路ショルダー）				
路床整正		m2		
（場周道路・保安道路・取付道路）				
路床整正		m2		
コンクリート舗装				
（主滑走路）				
舗設(機械施工)		m2		
舗設(人力施工)		m2		
（主滑走路オーバーラン）				
舗設(機械施工)		m2		
舗設(人力施工)		m2		
（主滑走路側誘導路）				
舗設(機械施工)		m2		
舗設(人力施工)		m2		
（ウォームアップエプロン）				
舗設(機械施工)		m2		
舗設(人力施工)		m2		

舗装目地				
(主滑走路)				
縦方向施工目地(1)	タイバー(削孔)	m		
縦方向施工目地(2)	スリップバー(削孔)	m		
横方向収縮目地(1)	スリップバー付目地	m		
横方向収縮目地(2)	ダミー目地	m		
横方向収縮目地(3)	タイバー付目地	m		
(主滑走路オーバーラン)				
縦方向施工目地(1)	タイバー(削孔)	m		
縦方向施工目地(2)	スリップバー(削孔)	m		
横方向収縮目地(1)	タイバー付目地	m		
横方向収縮目地(2)	現場目地	m		
横方向収縮目地(3)	ダミー目地	m		
(主滑走路側誘導路)				
縦方向施工目地(1)	タイバー(削孔)	m		
縦方向施工目地(2)	スリップバー(削孔)	m		原契約のとおり
横方向収縮目地(1)	スリップバー付目地	m		
横方向収縮目地(2)	タイバー付目地	m		
横方向収縮目地(3)	現場目地	m		
横方向収縮目地(4)	ダミー目地	m		
膨張目地		m		
(ウォームアップエプロン)				
縦方向施工目地(1)	タイバー(削孔)	m		
縦方向施工目地(2)	スリップバー(削孔)	m		
横方向収縮目地(1)	タイバー付目地	m		
横方向収縮目地(2)	現場目地	m		
横方向収縮目地(3)	ダミー目地	m		
アスファルト舗装				
(主滑走路ショルダー)				
アスファルト舗装	表層 t=5.0cm	m2		
(場周道路・保安道路・取付道路)				
アスファルト舗装	表層 t=5.0cm	m2		
路盤				
(主滑走路)				
上層路盤	ｸﾗｯｼｬｰﾗﾝ C-40 t=15cm	m2		
下層路盤	ｸﾗｯｼｬｰﾗﾝ C-40 t=15cm	m2		
プライムコート	PK-3	m2		
(主滑走路オーバーラン)				
上層路盤	ｸﾗｯｼｬｰﾗﾝ C-40 t=15cm	m2		
下層路盤	ｸﾗｯｼｬｰﾗﾝ C-40 t=15cm	m2		
プライムコート	PK-3	m2		
(主滑走路側誘導路)				
上層路盤	ｸﾗｯｼｬｰﾗﾝ C-40 t=15cm	m2		
下層路盤	ｸﾗｯｼｬｰﾗﾝ C-40 t=15cm	m2		
プライムコート	PK-3	m2		
(ウォームアップエプロン)				
上層路盤	ｸﾗｯｼｬｰﾗﾝ C-40 t=15cm	m2		
下層路盤	ｸﾗｯｼｬｰﾗﾝ C-40 t=15cm	m2		
プライムコート	PK-3	m2		
(主滑走路ショルダー)				
上層路盤	ｸﾗｯｼｬｰﾗﾝ C-40 t=15cm	m2		
下層路盤	ｸﾗｯｼｬｰﾗﾝ C-40 t=15cm	m2		
(場周道路・保安道路・取付道路)				
上層路盤	粒度調整砕石 M-30 t=10cm	m2		原契約のとおり
下層路盤	ｸﾗｯｼｬｰﾗﾝ C-40 t=15cm	m2		
雨水排水工				(想定数量)
管渠工				
高耐圧ポリエチレン管(1)	φ600	m	863	
高耐圧ポリエチレン管(2)	φ700	m	原契約のとおり	
高耐圧ポリエチレン管(3)	φ800	m	896	
高耐圧ポリエチレン管(4)	φ1000	m	668	
高耐圧ポリエチレン管(5)	φ1100	m	319	
強化プラスチック複合管(1)	2種 φ1200	m	原契約のとおり	

強化プラスチック複合管(2)	2種 φ1350	m	300	
強化プラスチック複合管(3)	2種 φ1500	m		原契約のとおり
強化プラスチック複合管(4)	2種 φ1650	m		
強化プラスチック複合管(5)	2種 φ1800	m	206	
側溝工				
U型側溝(1)	プレキャスト U300×300	m	235	
U型側溝(2)	プレキャスト U300×500	m	59	
U型側溝(3)	プレキャスト U500×600	m		
素掘側溝		m		原契約のとおり
皿型側溝	B=5.0m	m		
雨水人孔				
マンホール(1)	2号 φ1200	個	原契約のとおり	
マンホール(2)	3号 φ1500	個	10	
マンホール(3)	4号 φ1800	個		原契約のとおり
マンホール(4)	5号 φ2200	個		
マンホール(5)	1200×1200	個	1	
マンホール(6)	1500×1500	個		
マンホール(7)	1800×1800	個		
マンホール(8)	2200×2200	個		原契約のとおり
マンホール(9)	2500×2500	個		
雨水桝(1)	1000×1000×2000	個		
雨水桝(2)	1000×1000×2400	個		
雨水桝(3)	1500×1500×2100	個		
雨水桝(4)	300×300×600	個	6	
雨水桝(5)	300×300×1200	個	2	
雨水桝(6)	700×700×1500	個	1	
標識工				(想定数量)
標識工				
マーキング		m2	8,239	
航空灯火電気設備工				(想定数量)
航空灯火電気設備工				
航空灯火電気設備工		式	1	
環境整備工				(想定数量)
植生工				
植生工		式	1	
法面工				(想定数量)
切土工				
切土法面		m2	4,299	
盛土工				
盛土法面(1)		m2	3,650	
盛土法面(2)	ジオテキスタイル	m2	17,852	
法面排水工				(想定数量)
法面排水工				
法尻排水		m	1,070	
小段排水	U300×300	m	1,375	
縦排水	U300×300	m	34	
雨水桝	500×500×500	個	3	
溜桝		個	14	
ふとん篭		箇所	1	
素掘り側溝		m	2	
地下排水工				
地下排水工【指定部分】				
地下排水工(1)	幹線φ300	m	1,466	
地下排水工(2)	支線φ150	m	1,082	
地下排水工				
地下排水工(1)	幹線φ300	m	102	

地下排水工(2)	支線φ150	m	170	
補強盛土工				（想定数量）
補強盛土工				
補強盛土		m2	原契約のとおり	
補強土壁工				（想定数量）
補補強土壁工				
補強土壁		m2	原契約のとおり	
護岸工				
土工【指定部分】				
床掘		m3	12,789	
埋戻		m3	1,350	
土工				（想定数量）
埋戻		m3	1,541	
本体工【指定部分】				
コンクリート打設	18-8-20	m	977	
目地材	t=1cm	m2	622	
本体工				（想定数量）
コンクリート打設	18-8-20	m	44	
目地材	t=1cm	m2	30	
水叩き工				（想定数量）
コンクリート舗装	t=20cm	m2	原契約のとおり	
撤去工				
コンクリート構造物撤去		式		
仮設工				
交通誘導員		式		（想定数量）
ヤード整備【指定部分】		式		原契約のとおり
濁水処理		式		（想定数量）
火薬庫		式		（想定数量）
表土及び残土仮置場		式		（想定数量）
オカヤドカリ対策工		式		（想定数量）

契約変更理由

1．工程精査により工期延伸、指定部分の対象工種・数量を変更した。

2．建設機械等の拘束費について、費用が確定した。

3．資機材について、費用が確定した。

4．舗装機械について、費用計上方法が確定した。

5．技術提案の履行内容について、費用が確定した。

6．建設機械等について、運搬回数が確定した。

7．砕石製造について、費用が確定した。

8．シンカーブロックの設置について、数量が確定した。

9．護岸工及び補強土壁工の地盤改良における濁水処理について、数量が確定した。

10．地下排水工施工箇所における工事用道路について、数量が確定した。

11．護岸工及び補強土壁工における工事用道路及び施工ヤードについて、数量が確定した。

12．仮設調整池の掘削における土質区分について、数量が確定した。

13．岳之腰の掘削における土質区分について、数量が確定した。

14．護岸工の掘削における土質区分について、数量が確定した。

15．一部島外調達を要した砕石(C-40)について、数量が確定した。

16．砕石ヤードへの工事用道路について、数量が確定した。

17. 濁水対策(団粒化剤・植生シート)について、数量が確定した。

18. 仮設桟橋 B におけるスロープの設置について、数量が確定した。

19. 表土及び残土仮置場における用地造成・管理について、費用が確定した。

20. 補強土壁工の盛土材におけるふるい分け・岩破砕について、数量が確定した。

21. 深掘①における土質区分について、数量が確定した。

22. 法面部の緑化について、植生工法が確定した。

23. 深掘①における滑り対策について、数量が確定した。